

保証書

本書は裏面の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです。

お客様	ご住所	〒	機種名	IRR-106	
	お名前		取扱販売店	住所 店名	
保証期間	一年	お買上日	年	月	日

保証規定

- 保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ① 水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
 - ② ファイナルおよびマイコン関係による故障
 - ③ お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
 - ④ 本保証書のご提示がない場合
 - ⑤ 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。
- 修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承ください。

IRR-106

6 チャンネル赤外線ワイヤレスマイクロホンレシーバー

取扱説明書

このたびはアツデンの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管して下さい。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)



この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この様な絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

アツデン 株式会社

<http://www.azden.co.jp> e-mail:sales@azden.co.jp

本社 〒181-8533 東京都三鷹市上連雀1丁目12番17号

営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131

PRINTED IN JAPAN 060-35049-01D

・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にかならず本書を良くお読みください。

・お読みになったあとは、必ず保存して下さい。

警告

 ■万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグ（またはA Cアダプター）をコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

■万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはA Cアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くこと

 ■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはA Cアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くこと

 ■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 ■この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）

■電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

■この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（D C）電源には接続しないで下さい。火災の原因となります。

■この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺等屋外での使用は特にご注意ください。

■風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

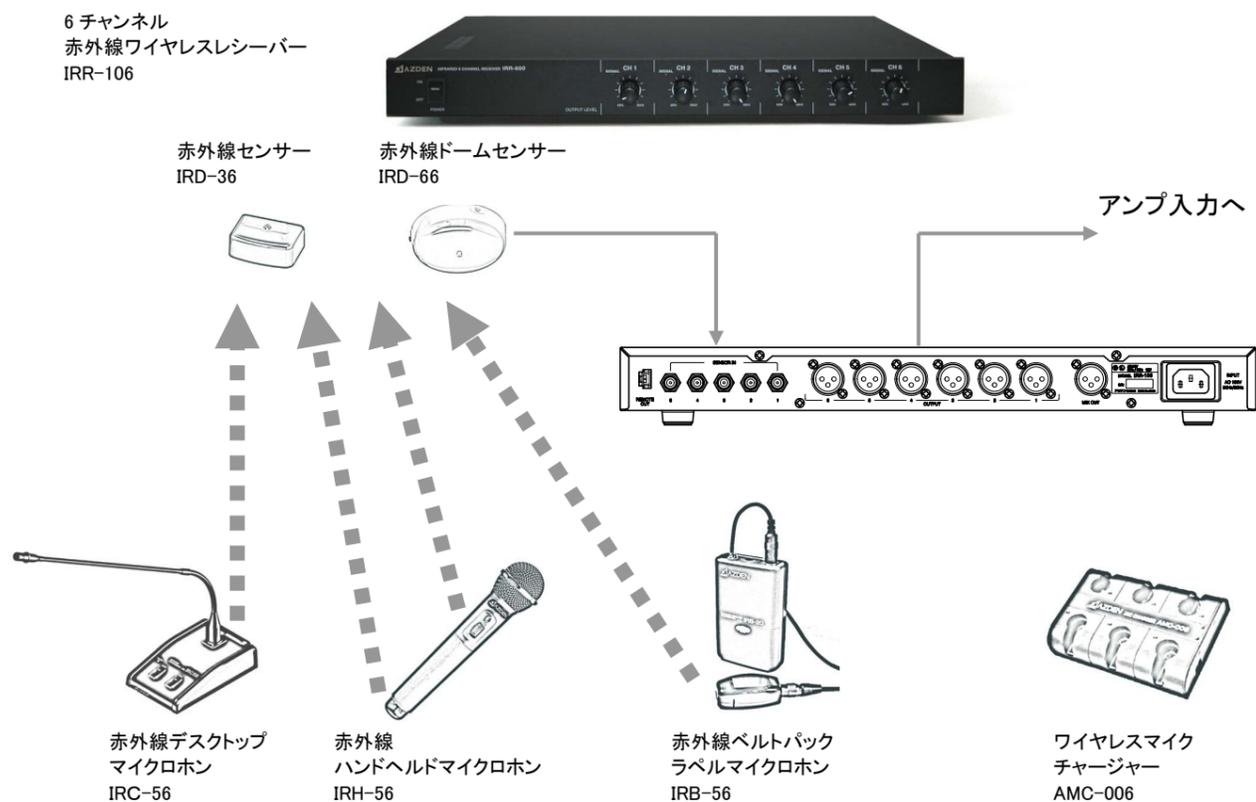
IRR-106

形式	赤外線ワイヤレスマイク用レシーバー
受信周波数	2MHz 帯の 6 チャンネル
受信方式	スーパーヘテロダイン
変調方式	周波数変調
受信チャンネル数	6 チャンネル
局部発振方式	PLL シンセサイザー
トーンスケルチ	32.768kHz
出力インピーダンス	ライン 3kΩ以下
周波数特性	50～10,000Hz ±3dB
基準出力レベル	0 dBs / 最大変調 20kHz ボリューム MAX
S/N比	55dB以上
歪率	1%以下
オーディオ出力	XLR 3 ピン(オス)X6
ミックス出力	XLR 3 ピン(オス)X1
センサー入力	F 型コネクターX5
電源電圧	AC100V～240V、50/60Hz
外形寸法	435(W)X44(H)X270(D)
質量	約 4.5kg

◆添付物

取扱説明書	1
保証書	1

システム構成例



⚠ 注意

■調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⊘ ■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■この機器の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

⊘ ■電源プラグ（またはACアダプター）を抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ（またはACアダプター本体）を持って抜いてください。

■濡れた手で電源プラグ（またはACアダプター）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ ■お手入れの際は、安全のため電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて行ってください。



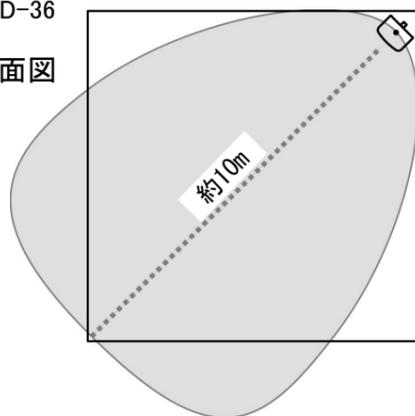
■旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

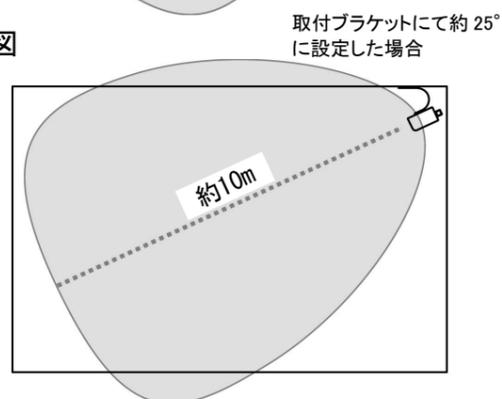
設置例（受光範囲）

赤外線受光センサー
IRD-36

上面図

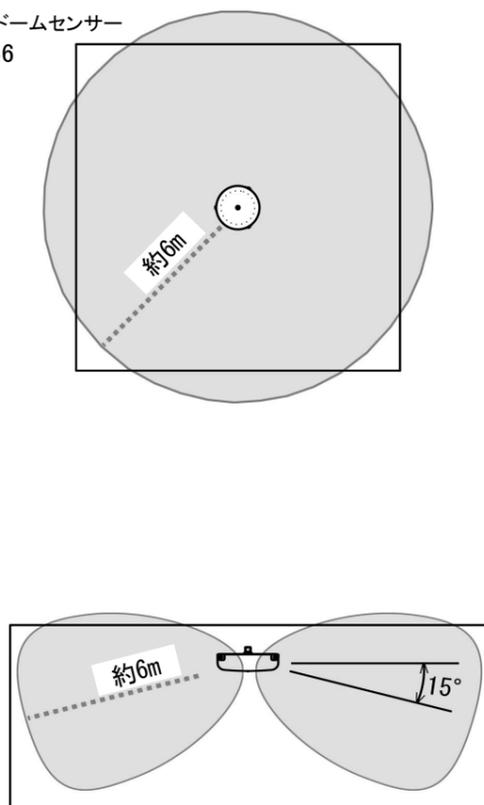


側面図



赤外線ドームセンサー
IRD-66

側面図



特長

赤外線により音声を送信する方式を採用していますので、外来ノイズ等の影響を受けにくく、また同一の建物の中でも、壁などで遮光された部屋ならば、複数セットご使用になっても混信の心配がありません。

IRR-106 は 1 台で 6 本のワイヤレスマイクが同時に使用できます。

IRR-106 は部屋の状態に合わせてより安定した受信ができるよう、外部受光センサーを最大 5個まで接続することができます。受光角度上下左右約 120 度の IRD-36、約 360 度受光できるドームセンサーIRD-66 の 2 種類用意しております。

マイクロホンはハンドヘルドタイプ、ベルトバックタイプ、デスクトップタイプを用意しており、お客様の用途によりお選びいただけます。

使用上の注意

本システムは赤外線を使って音声を送信している為、マイクと受光センサーの間を遮ると音がとぎれることがあります。また、他の赤外線方式のリモコン装置などの信号によって、影響を受け雑音が出る場合があります。受光センサーの設置は他のリモコン受光部の近くにならない様、特にご注意下さい。

マイクロホンと受光センサーは、2m以上離してご使用ください。

ノイズが出る場合は、マイクとセンサーをさらに離してご使用ください。

マイクを同時に 6 本使用されるときは、チャンネル 1 からチャンネル 6 まで、チャンネルの違うマイクをご使用下さい。同じチャンネルのものを同時に使用しますと、レシーバー側で正常な受信ができません。

マイクをスピーカーの近くでご使用になったり、不用意に音量を上げた場合、ハウリング（“ピー”等の大きな音の発生）が起こりやすくなりますので、マイクとスピーカーの距離を離したり、音量を適正な大きさに調整してご使用下さい。

マイクを落としたり、濡らしたりしないで下さい。故障の原因となります。

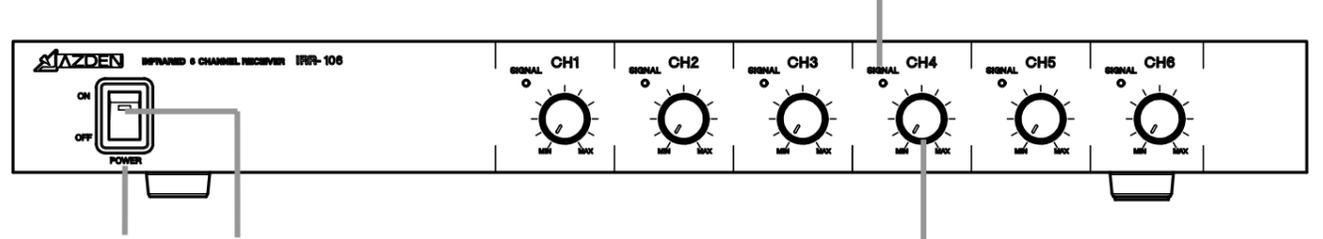
高温、多湿の場所及び太陽光線のあたる場所での使用や保管は避けて下さい。

赤外線ワイヤレスシステムの取り付けの注意

センサ - ケ - ブルの種類	約20mまでは3C-2V (JIS規格高周波同軸ケーブル)または3C-FB(低損失タイプ) 約100mまでは5C-2V (JIS規格高周波同軸ケーブル)または5C-FB(低損失タイプ) 100m以上では長さにより7C-2V等を使用します。
複数のセンサ - を使用するとき	センサ - から受信機までのケーブル長は、すべて同じ長さにする。(誤差8m以内)
混合器を使用する場合(別売混合器)	混合器からセンサー間も同じ長さにする。(誤差8m以内)
ケ - ブル配線	天井にはエアコン動力電力線や、照明電力線が配線されています。 エアコン等インバーター機器のインバーターノイズ・照明の調光ノイズに受信波が妨害され、 実質的に受信感度が落ちることがあります。センサ - ケ - ブルの配線やセンサーの取り 付け位置は、これらの電力線から離して設置する。
照明等、他の光の妨害	室内照明光等が直接センサ - に当たらないように設置する。 特に赤外線を多く含む光から妨害を受けます。 白熱電球、ハロゲン光、プラズマディスプレイ、および窓からの太陽光など。
スポットライト その他の妨害 室内配色	ワイヤレスマイク側も、強いハロゲン光を受けると、送信赤外光に妨害を受けます。 受信機の電源をインバーター機器等の電源と同じコンセント(電源ライン)から取らない。 送信側の赤外線LEDとセンサ - の光軸が一致すると、約20mをカバーできますがワイヤ レスマイクは移動しますので光軸の一致はまれです。 ワイヤレスマイクから放射状に発射される赤外光は、室内の壁・床・天井などに反射して センサ - に届きます。白色系の配色であれば赤外光を有効に反射します。 絨毯・黒系の壁などの場合は不向きな場合があります(カバー範囲が白色系より狭くなる) 反射光不足には、センサ - の数を増やしカバーします。 反射の程度はレーザーポインタ - などを使用して、照射光がよく見えれば、よく反射して います。確実ではありませんが目安になります。
天井が高い場合	IRD66は天井高さ約3m程度で設計されています。 それ以上の高さの天井に取り付けた場合、センサ - 直下の位置で受信できない可能性が あります。 IRD-36の場合は取り付け例を参照
混合器でIRR-106に接続できるセンサーの台数	IRD-36は10台まで、IRD-66は5台まで

各部の名称とはたらき

6CH 赤外線ワイヤレスマイクレシーバー IRR-106



電源スイッチ

シーソー形スイッチの上を押すと電源が入り、下側を押すと切れます。

電源表示ランプ

電源が入ると橙色に点灯します。

マイク音量調整つまみ(CH 1～CH 6)

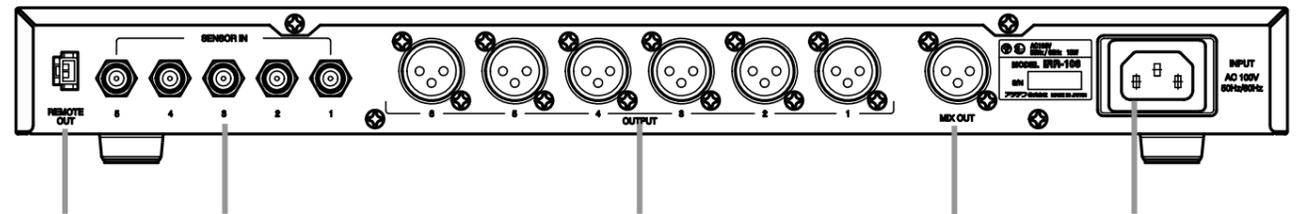
マイク音声出力の音量が調整できます。他のチャンネルとの音量に差がある時は、このつまみで調整して下さい。

受信インジケータ

このインジケータは、受信状態で緑色に点灯します。

CH 2～CH 6受信受信状態でデスクトップマイク(IRC-51)のミュート機能を使用すると、インジケータの色が緑色から赤色に変わります。

後面パネルの名称とはたらきと接続のしかた



受光センサー入力端子

受光センサーを接続する端子です。

マイク音声出力端子

マイク音声を出力する端子です。チャンネル1～チャンネル6の音声を単独で出力します。
オーディオケーブルでアンプ、ミキサー等のライン入力端子に接続します。

デスクトップマイク(IRC-51)のミュート機能を使用することによって、CH 2～CH 6
の音声出力をミュートすることができます。

マイク音声ミックス出力端子

マイク音声を出力する端子です。チャンネル1～チャンネル6の音声をミックスして出力します。(マイク音量調整つまみにて出力可変)
オーディオケーブルでアンプ、ミキサー等のライン入力端子に接続します。

電源ケーブル接続端子

付属の電源ケーブルを接続してAC100Vの電源コンセントに差し込んで下さい。

外部リモート端子

会議システム機器と接続することにより、CH 1のミュート信号で外部機器をコントロールすることができます。

マイク-ライン切替スイッチ

マイク音声ミックス出力端子 の出力を、マイクレベル出力とラインレベル出力の切替ができます。

